

ボートレース事業は、こんなに役立っています！

市財政への繰入金は総額578億円

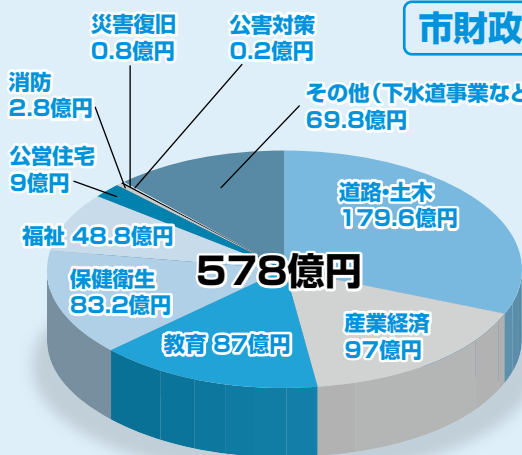
大村ボートレース場は、昭和27年4月6日、全国で初めてモーターボート競走を開催した「ボートレース発祥の地」です。

開設以来、今年で60周年という記念すべき節目の年を迎えました。これまでに、ボートレース事業の収益から、総額578億円を市へ繰り入れし、市民生活の基盤となる道路、公園、下水道などの整備や、教育文化の振興となる学校建設や体育文化センターの建設費、保育所など児童福祉施設の整備費をはじめとし、産業・経済の振興、医療の普及など、さまざまな事業費に活用してきました。

平成23年度は、2億円を市へ繰り入れ、次世代を担う子どもたちの育成支援の事業を行う「大村市子ども夢基金」などに活用されました。

ボートレース事業は、今後も効率的な経営と売上げの拡大に努め、市財政への安定的な繰り入れによって、市の発展に貢献していきます。

市財政への繰入金金の概要



ボートレース大村ってすごい!!



就学前児童子育て支援事業



ワクチン接種事業

ほくたちも、子ども支援の充実で安心して暮らせるんだね。



森園公園



大村消防署



通学道路の整備(落下防止柵)



オフィスパーク大村

坪内八郎氏のこと



大村市モーターボート競走事業管理者 田中 克史

モーターボート誕生の歴史を語る時に忘れてはならない坪内八郎氏のことをご紹介いたします。

坪内氏は、昭和26年議員立法として成立したモーターボート競走法案の提案者となられた方で、当時、長崎県1区選出の衆議院議員。運輸委員会の常任理事を務められ、初代長崎県モーターボート競走会会長でもあります。海洋県で水産業の盛んな長崎県選出ということから推されて法案提案者となりました。

昭和26年3月14日、衆議院本会議場で述べられた提案理由を読むと、坪内氏の法案成立にかけける情熱、息吹が感じられます。

氏は、法律の究極の目的として

①モーターボート競走を通じて日本経済の基礎となる海運事業の発展、造船技術の改善、船舶機関の性能改革を図る遠大な意図にあること

②四海環海のが国にとって国民のすべてに海事思想を徹底することが望ましい。海上を疾走して覇を競うモーターボートの勇壮な姿は、観衆に海事に対する関心を引き起こさずにはおかない。

③競走場には国際観光地、その付近には適地も少なくないことから観光客の娯楽にも資する

④地方財政への寄与を挙げられております。(つづく)

9月のレース開催日程

大村開催

8日～11日 島原半島ジオパーク認定3周年記念  
オラレ島原開設4周年  
19日～24日 スタート野郎決定戦

ナイター

全日ブルードラゴン、前売場外発売所で発売

場外

1日～4日 GI津周年  
5日～10日 GI鳴門周年  
12日～17日 GI唐津周年  
25日～30日 GI新鋭王座決定戦(徳山)

モーニング

11日、19～24日 一部レースを発売

無料入場券  
(100円分)

【有効期限】2012年9月8日～10月8日まで  
※お1人様1枚限りとさせていただきます。

平成24年広報おおむら9月号より

転写使用禁止

BOAT RACE 大村

BOAT RACE 大村

24番 <http://www.omurakyotei.jp>

〒856-0834 長崎県大村市玖島1-15-1 Phone.0957-54-4111



# 第16回

ボートレース発祥地記念

# モーターボート誕生祭

～マクール賞～

# 10/3 水 4 木 5 金 6 土 7 日 8 祝

ドリーム戦

ドリーム戦

準優勝戦

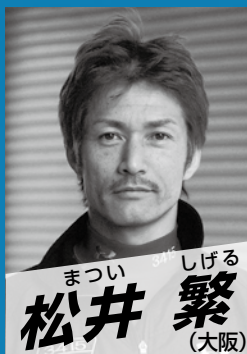
優勝戦

## 【主な出場選手】

今村 豊 (山口) 平石和男 (埼玉)  
 松井 繁 (大阪) 服部幸男 (静岡)  
 太田和美 (奈良) 原田幸哉 (沖縄)  
 瓜生正義 (福岡) 池田浩二 (愛知)  
 菊地孝平 (静岡) 森高一真 (香川)  
 中村亮太 (長崎) 石橋道友 (長崎)



## 注目レーサー!!



まつい しげる  
**松井 繁**  
(大阪)

その絶対的な強さから「王者」と呼ばれる。昨年、公営競技初の生涯獲得賞金30億円突破を果たす。42歳



いむら ともゆき  
**今村 豊**  
(山口)

愛称は「Mr.ボートレース」。50歳を超えた現在も、艇界をリードする鉄人レーサー。51歳



いけだ こうじ  
**池田浩二**  
(愛知)

昨年12月に最高峰レース「SG賞金王決定戦」を制しMVPに輝く。昨年の獲得賞金は2億5千万円超。34歳



うりゅう まさよし  
**瓜生正義**  
(福岡)

昨年は最高グレードであるSG競走を2優勝し、池田とともに艇界2強の座を確立。堅実な捌きでファンの信頼も厚い。36歳



いしばし みちとも  
**石橋道友**  
(長崎)

5月の大村一般戦では白星ラッシュを重ね、久しぶりの優勝。近況は苦戦が続くが、ホームプールで、悲願のGII制覇をもくろむ。30歳